

理不尽に勝つ

校長 大瀧 訓久

私は祖父から大瀧製作所の跡取り息子として大切に育てられた。自分自身もいずれは家業を継ぐものだと思っていた。大学に進学して青春を謳歌したかった父親は厳格な祖父によって高校卒業と同時に家業の手伝いを命じられた。そんな父親だったから私には大学進学を強く勧めてくれた。「仕事に就くと損得勘定なしの友人をつくるのは難しくなる。俺の息子なんだから頭は良くないのは分かっている。学費は出すから、大学に進学して将来どのような職に就くかわからない全国から集まった人たちと沢山交流を持って、そして一生の付き合いになる友達を一人でも多く作れ。その代わりに、卒業後は、すぐに家業に就くと甘えが出るから知り合いの大阪の店に最低3年間は住み込みで修行に行ってもらおう。」と父親から言われていた。大学卒業後は、大阪で地獄の社会人生活、時代は昭和、修行中先輩方からの理不尽な嫌がらせも覚悟していた。そんな中、大学4年の秋、友人の心温まるサポートもあり教員採用試験に合格することができた。父親は、「社会に出るのは同じかぁ、せっかく受かったんだから大阪に修行に行ったと思いき教員頑張ってみろ！」と教職を快く認めてくれた。教員1年目の5月、F・G組の副担任として林間学校に3泊4日中学2年生を引率した。F組のバスに乗り、生徒と行動を共にした。F組の担任H教諭は、技術科でバレーボール部顧問のパワフルな男性教員だった。私にとって初めての宿泊行事引率、先輩教員の指示通り動くので精一杯だった。3日目の夜はキャンプファイヤーが計画されていた。担当責任者はH教諭。しおりのキャンプファイヤーのページは、炎の周りにA組～G組までしか描かれていない質素な会場図だけであった。キャンプファイヤーの内容はレク係の生徒も知らされず、H教諭の頭の中だけであった。他の教員も当日どう手伝い、動いてよいか不安がっていた。2日目の夜、H教諭と二人きりになった時、自分の動きがわからないことと他の教員が心配していたことを伝えると「黙ってていれればいいんだよ」と怒って部屋から出て行ってしまった。3日目ハイキング帰りのバスの中、H教諭はおもむろにマイクを握り、私の顔を睨みながら話し出す。「おい、みんな、聞いてくれ！このバスの中に今夜のレクが失敗すると思っている奴が一人いるんだ。」「信じられないよなぁ。裏切り者だよなぁ。みんな、悔しくないか、絶対に今夜のレクは成功させるぞ！」(ちょ、ちょっと待ってくれ、僕は失敗するなんて一言も言っていないぞ・・・) 私は、バスの中で反論することもできず一人針のむしろだった。キャンプファイヤーはH教諭の司会進行で行われた。生徒たちは一生懸命取り組んだが、最後はH教諭の説教で終わってしまった。その日の夜、「今夜のレクは失敗だったよ。大瀧、予想が当たって良かったな。」(僕は一つもうれしくありません。哀しいです・・・ハつ当たりです・・・) これが私が社会人になって最初に経験した理不尽な出来事である。大阪での地獄の修行を覚悟していたのでこの出来事を乗り切ることができたんだと思う。翌月から急遽E組の担任となりH教諭との接触は少なくなったが、「E組は授業中落ち着きがないなぁ、担任から何を教わっているんだ！」と遠回しの嫌味は言われていたらしい。今考えるとこの理不尽な出来事があったから、早く楽しくわかる授業が展開できるように、明るくけじめがある学級になるように、バレー部に負けないソフトテニス部になるように必死になって取り組めたのだと思う。その時の一番の救いや喜びは、生徒たちの笑顔や変容であった。

人間は生まれながらに理不尽を背負っている。

大切なのは、なんとか理不尽な状況に打ち克って、理想の人生にできるかぎり近づこうと努力すること。その過程にこそ生きることの醍醐味というか喜びもある。

『理不尽に勝つ』 (ミスターラグビーこと) 平尾誠二 著より

まだまだうまく、強くなる！

私は4つの中学校で25年間、ソフトテニス部の顧問を受け持つことができた。西新井中学校に勤めていたころ、春の大会で好成績を取りブロック大会に進出した。ブロック大会でもシードをもらい上位進出が予想されていた。午前中、私は本部で大会運営を忙しくおこなっていたが、そんな中、西新井中はその日最初の試合で敗れてしまった。油断である。呆然とする生徒たち、泣き出す生徒もいた。私自身も午前中で敗れるはずはないとしっかり試合を見ることができず、油断していたことを生徒に詫びた。残るは、中学校最後の夏季大会、悔いのない試合をしようと誓い合った。ブロック大会後の練習は今までとは違う集中力の高い練習ができた。雨天で校庭が使用できないときでも室内でしっかりとトレーニングをおこなった。その成果か、区の夏季大会では優勝することができた。都大会に進出したが、新人大会や春季大会での実績が無かったので組み合わせは優勝候補の一つ第2シードの学校の下に入れられた。負けてもともと、ただし「悔いの残る試合をしたくない」「完全燃焼」をスローガンに試合に臨んだ。なんと、第2シードの学校に0-3から大逆転して4-3で勝つことができた。そこから彼女らは、戦いながらうまく、強くなっていった。「こんなにうまくいったかな？」「こんなに強かったかな？」彼女たちが何か大きくなったように見えた。最終的には決勝で敗れたが、最後は全員がすがすがしい表情をしていた。

多くの運動部は春の大会が終了したと思います。来週から運動会の練習も始まりますが、夏季大会も始まります。中学3年生にとってはとても大切な大会、皆さんはまだまだうまく、強くなります。最後は負けて終わりますが、今までの大会の反省をしっかりとおこない、課題をもって練習に取り組み「悔いのない試合」をしてもらいたいです。中学生の可能性は無限大です。

『あきらめたらそこで試合終了ですよ』 by スラダン・安西先生

島根の力！（表彰生徒）

☆テニス部

第50回東京都中学校第5ブロックテニス大会 第3位 2年2組生徒

今後の予定

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| 5月13日（月）尿検査1次（全） | 6月 1日（土）第64回 運動会（予備日4日（火）） |
| 14日（火）避難訓練、尿検査1次追加 | 3日（月）振替休業日 |
| 16日（木）眼科検診（全） | 7日（金）耳鼻科検診（全） |
| 17日（金）生徒総会リハーサル（中央議会） | 10日（月）全校朝礼、学校公開始（～6/15（土）） |
| 18日（土）土曜授業、第1回学習コンテスト、生徒総会 | 11日（火）専門委員会 |
| 20日（月）全校朝礼、教育実習始（～6/7（金）） | 12日（水）身体体力測定、区中研の日 |
| 21日（火）内科健診（3年） | 15日（土）土曜授業、学校説明会 11～ 体育館 |
| 24日（金）英語検定 | 17日（月）生徒集会 |
| 28日（火）運動会係会②、尿検査2次 | 20日（木）前期中間考査①〈給食なし〉 |
| 29日（水）運動会予行、尿検査2次追加 | 21日（金）前期中間考査②〈給食なし〉 |
| 31日（金）運動会前日準備 | 24日（月）実力テスト（3） |
| | 25日（火）専門委員会（7月分） |
| | 28日（金）中央議会（7月分） |